

第 60 期物理学史資料委員会活動報告

委員長：植松英穂

副委員長：永平幸雄

理事：二宮正夫

委員：岡本拓司、勝木渥、小長谷大介、近佳一郎、高橋智子、廣政直彦、山下広順、吉田晴代

1. 物理学史資料委員会議の開催

下記の通り、3回の委員会議を開催した。

第 62 回物理学史資料委員会

2004 年 10 月 12 日（火）13:30-16:30（於日本物理学会会議室）

第 63 回物理学史資料委員会

2005 年 3 月 15 日（火）13:30-16:30（於日本物理学会会議室）

第 64 回物理学史資料委員会

2005 年 8 月 9 日（火）13:00-16:00（於日本物理学会会議室）

（当初、7 月 26 日に開催予定であったが、台風のために中止した。）

2. 物理学史資料に関する情報

2-1 田中館愛橋関係資料について

二戸シビックセンター内田中館愛橋会『田中館愛橋会会報』第 35 号、第 36 号が発行された。

2-2 資料委員会所蔵資料について

2-2-1 土井不曇資料の整理を行い、資料リストを作成した。資料の劣化が激しいのでマイクロフィルム化を行った。

2-2-2 マイクロフィルムの取り扱いについて

通常の資料と同じ取り扱い基準にしたがって取り扱う。

2-2-3 数学物理学会事務資料

マイクロフィルム化を行った。

2-3 金沢大学旧制第四高等学校関係資料について

永平副委員長が石川県教育委員会と共同で旧制第四高等学校の実験機器を科研費により整理し、カタログを発行した。ホームページで公開できるように作業している。

2-4 新しい資料室の設置について

2-4-1 文部科学省高エネルギー加速器研究機構は、国際・社会連携部に「史料室」を 2004 年夏に設置した。2005 年 1 月に同機構と総合研究大学院大学葉山高等研究センターが共同で研究会「大学共同利用研究所・研究機関の成立-研究機関のアー

カイズ利用による歴史的研究 - 」を同機構で開催した。

2-4-2 自然科学研究機構核融合科学研究所は、「核融合アーカイブ室」を 2005 年 1 月に設置し、2 月に「核融合アーカイブ室発足記念講演会」を開催した。

2-4-3 総合研究大学院大学葉山高等研究センターは、同大学に協力している共同利用研究機関にアーカイブ設置を進めるための研究をプロジェクト研究として 2005 年 2 月に取り上げた。そのための研究会「大学共同利用機関の歴史とアーカイブ」が同大において 3 月に開催された。

3. 『物理学史資料委員会会報』の発行について

会報第 2 号が発行されて 8 年が過ぎ、資料情報の内容更新が必要となった。各資料室・資料館のその後の状況、物理学関係の新しい資料室の設置などについて調査を行うことにより、その結果を会報第 3 号に掲載することを決め、発行のための準備を行った。

4. 資料委員会所蔵資料の利用状況

4-1 東京大学教養学部美術博物館から、平成 16 年 11 月 1 日より 12 月 17 日まで「第一高等学校創立 130 周年記念・駒場の歴史展」を開催するにあたり、資料委員会所蔵の土井不曇のノートと日記を展示したいとの申し出があり、10 月 9 日に貸し出しを行った。

4-2 2005 年 7 月 21 日に小澤健志会員より『小谷正雄が東大の学生の時に聴講した量子力学の講義ノート』の閲覧希望があり、閲覧を認めた。

(ただし、閲覧希望のノートは、小谷正雄の「量子力学輪講原稿第二集」のことかと思われるが、東大の学生の時に聴講した『量子力学の講義ノート』ではない。)

5. 今後の活動

5-1 全国の物理学関係の資料室・資料館における資料の保存状況を調査することにより、資料委員会の持っている情報を更新すると共に、新たな資料の発掘および調査を行う。

5-2 資料委員会のホームページを親しみやすく、利用価値を高めるような内容にして、物理学史資料の保存の重要性をアピールしていく。

5-2-1 1877 年の東京大学創設から始まった日本の近代的な物理学の教育・研究体制において育成された物理学者のデータベースを構築し、ホームページで公開する準備をする。

5-2-2 物理学史資料や画像などを収録したデジタル・アーカイブを作成しホームページで公開する。

5-3 資料委員会所蔵の物理学史資料の利用規程を、現状に合うように改訂する。